

# 令和 4 年北方領土返還要求全国大会アピール

本日、令和 4 年「北方領土の日」を迎え、我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島、すなわち北方四島の返還実現を目指し、ここに「令和 4 年北方領土返還要求全国大会」を開催いたしました。

本大会では、会場参加とオンライン配信を併用し、北方四島の返還実現に寄せる私たちの想いを再確認した上で、国内外に向けて幅広く訴えることができました。

北方四島がロシアによって法的根拠のないまま 76 年にわたって占拠され続けていることは、決して許されない問題です。北方四島を故郷とする元島民の方々は「故郷に戻る」との願いを叶えられぬまま、毎年多くの方々が亡くなられています。これ以上問題解決を長引かせる訳にはいきません。

こうした厳しい現状の中で開催した本大会では、元島民の「故郷に戻りたい」訴えと、返還要求運動の現場から「四島返還を求める」声を発信しました。

私たちは、「北方領土の日」制定の基本である北方領土問題を解決し、日露両国間の平和条約の締結によって、両国間に真の平和と友好が構築されるよう、日露交渉の加速を求めます。

本大会では、北方領土問題の解決に向けて、政・官・民が一体となった、まさに国民運動として、これまで以上にそれぞれが自らの役割を果たし、北方領土返還要求運動に取り組むとの意思統一が確認されました。

私たちは、北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明いたします。

## 記

- 一. 私たちは、北方四島の返還実現を目指し、情報化時代に合わせ、あらゆる方法で北方領土問題を発信して参ります。
- 一. 私たちは、地域・職場・学校・家庭などのあらゆる場で全国の仲間と手を携え、返還実現を目指し、広範な国民運動に取り組みます。
- 一. 私たちは、署名活動をより一層推進します。
- 一. 私たちは、あらゆる機会を活かし、北方四島の返還こそが我が国とロシアとの真の友好と信頼関係を築き、ひいては世界の平和に寄与するものであることを訴えます。
- 一. 私たちは、北方四島に今も残る日本の建物や遺構について、さらなる発見と保存に取り組めます。
- 一. 私たちは、北方四島相互訪問（「ビザなし交流」等）の再開を強く求めます。

令和 4 年 2 月 7 日北方領土の日  
令和 4 年北方領土返還要求全国大会